

協定校留学近況報告書

記 入 日	2014年 1月 7日
留 学 先 大 学	アルバータ大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 法学部, (現地言語での名称): Faculty of Law <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2013年8月ー2014年5月
明 治 大 学 での 所 属	法学部法律学科___専攻 / ___研究科___専攻
学年(出発時本学での学年)	学部4年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

寮の情報や留学先でどのような授業を取ることができるのか情報を集めました。先方にお願ひすれば取りたい授業をとれるものだと思っていましたが、意外と融通が利かず、授業選びに苦労しました。留学先についてからあたふたしないためにも、自分が学びたいことがそこできちんと学べるのかどうか、しっかりと確認しておいた方がいいと思います。英語面での準備としては学部間共通の英会話の授業を3つ聴講し、学部で Business Law in English を聴講、リスニングの授業とレベタ先生の法学総合講座を履修し、なるべく英語に触れる機会が多くなるようにしていました。ただ、授業終了から出発まで間が空いてしまうので、その間にどうやって英語に触れる機会を保つかが大事になると思います。また、個人的には、特に寮の確保をすぐにやった方がいいと思います。特に Lister Centre は人気なので、住みたい方は CCID が届いたらすぐに確保した方がいいと思います。

準備不足だったこととしては、まず初めにビザの申請であたふたしてしまっただことが挙げられます。3 か月前に申請すれば大丈夫だと思っていたのですが、ホームページで確認すると 13 週間かかると書いてあり、一時は、留学に間に合わないのではないかと思います、しばらく生きた心地のしない日々を過ごしました。とにかく、早すぎることはないと思うので、確定したらすぐに申請しましょう。英語面については、もう少し語彙を増やす努力をしておけばよかったなと思います。留学を初めて最初のころは、わからない単語だらけでなかなか Reading assignment が進まなくて、とても苦労しました。

アドバイスは、とにかく、できることは早め早めにやってしまうということです。自分の力だけではどうにもならない問題も多々発生します。そんな時に落ち着いて対処するためには、やはり時間的余裕が一番必要なのではないかと思います。私の場合は、時間の余裕がなかったことが結果的に自分を苦しめました。ぜひ、「早め早め」を合言葉に準備を進めてもらいたいと思います。

II - 1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Study Permit	申請先: マニラのカナダ大使館(オンライン)
ビザ取得所要日数: 5 週間程度 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: あまり覚えていないのですが 10,000 円前後だったと思います。

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

留学先大学からの留学許可証、パスポート、申請書など。申請書はオンラインで手に入ります。

具体的な申し込み手順を教えてください。

MyCIC を使って、オンラインで必要書類を添付して送信します。あとは、MyCIC への返事を待つだけです。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

面接はありません。

ビザ取得に関して困った点・注意点

夏は申請する人が多いので、取得に必要な期間が長くなる可能性があります。ぜひ、できるだけ早く申請しましょう。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

キャッシュパスポートにお金を入れておき、家族にお金を振り込んでもらえるようにしておくといと思います。ATM で簡単に現地通貨が引き出せます。携帯電話は、こちらに着いてから留学生用の携帯電話フェアがあるので、心配する必要はありません。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	JAL、AIR CANADA				
航空券手配方法	Skygate を使いましたが、留学生用のもっと安い会社があるようなので、調べてみると思います。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	エドモントン国際空港	現地到着時刻	14:30		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	30 分程度				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

スカイシャトルという空港バスがあり、それを使えば寮の目の前まで運んでもらえます。料金は \$18 です。当日に空港でチケット購入可。

大学到着日	8月25日17時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	大学側から案内があるので、それに従ってもらえれば大丈夫です。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

スカイシャトルが寮の目の前まで運んでくれたので、何の問題もありませんでした。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	約 5 日間程度
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	内容はカナダでの生活、携帯電話セール、授業の受け方などで、さまざま国からの学生がいるため、非常ににぎやかで楽しかったです。
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月4日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?

特にありませんが、現地の総領事館に滞在登録はしました。オンラインで無料かつ簡単にできるので、やっておきましょう。

2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?

特にありません。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

しました。銀行に行って、口座を作りたいと言えば作ってもらえます。身元証明書としてパスポートが必要です。即日発行してもらえます。トラブルは特になかったです。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

しました。先述の通り、携帯電話を売ってくれるフェアがあるので、クレジットカードとパスポートがあれば簡単に手に入られます。ケチらずにちゃんとインターネットをつなげるようにしておいた方が無難です。携帯の本体は \$ 50 程度で買えました。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(4月 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

履修されることが許されている科目で空きのある者の中から選びました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

できます。ただし、多くの学生が既に履修登録を終えているので、希望通りの科目をとれない可能性もあります。Beartracks の Watch list に加えておくと、空きが出たらメールを届けてもらえるので、有効に活用すると思います。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00						土日のどちらかの半日くらいを使ってフロアのイベントに参加することもあります。	
8:00	起床	起床	月曜日と同じ	火曜日と同じ	起床		
9:00	予習等	予習等			予習等		起床
10:00	授業	授業			授業	起床	予習等
11:00	予習等	↓			予習等	予習等	↓
12:00	昼食	昼食			昼食	昼食	昼食
13:00	予習等	予習等			予習等	予習等	予習等
14:00	↓	↓			↓	↓	↓
15:00	↓	↓			↓	↓	↓
16:00	授業	↓			↓	↓	↓
17:00	↓	↓			↓	↓	↓
18:00	予習等	↓			↓	たまに外食	たまに外食
19:00	↓	↓	週に一回、夜にドッジボールの試合があります。(たいてい水か木)		↓	予習等	予習等
20:00	夕食	夕食			ひたすらパーティー	↓	フロアミーティング
21:00	予習等	予習等			↓	↓	予習等
22:00	↓	↓			↓	↓	↓
23:00	↓	↓			↓	↓	↓
24:00	↓	↓			↓	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

留学前半戦の前半はとにかく苦しかったです。これだけやってもついていけないかという思い、こんなに予習ばかりしていたら、人と話す時間がとれないから語学力も伸びないではないかといういらだち、英語がちやんと喋れない自分が廊下でカナダ人のフロアメートと出会うことへの恐怖、すべてが合わさってストレスがたまり、精神的に疲弊し、眠れない夜が続きました。何度日本に帰りたいと思ったことかわかりません。しかし、そんな経験をしたからこそ、タフになれました。逆に開き直って、「この状況からいい成績をとったら自分はすごいな」とか「ほかの人よりしゃべれない自分が現地人と、その人たちが現地人と一緒にいるのと同じくらい仲良くできたらすごいな」と思うようになり、「とにかく気持ちを前面に出してぶつかっていこう！」とポジティブに物事に取り組めるようになりました。そのような生活を続けることで気づいたことは、話す言語は違っても、一緒に生活をしているのは同じようにやさしい心を持った人間であるということ、自分が彼らに対してオープンであり、日本にいるときに日本の友達にするのと同じように、やさしさと思いやりを持って接すれば、彼らは決して自分を見捨てないということです。今では、寮で盛んなドッジボールでも重要なポジションを任せられ、外に飲みに行くとなれば、必ず自分を誘ってくれるようになりました。そうやって、かかわりを持ち続ける中で、語学力も少しずつ上がってきているように感じます。また、学業も、ともに頑張れる友人を見つけ、ひたすら努力を続ければ、必ず結果はついてくることもわかりました。最初は、英語が聞き取れず、一方で、周りがガンガン発言するため、行くのが憂鬱だった授業も、今ではとても楽しみになっています。(まだ積極的に議論に参加できるほどにまでは至っていませんが。笑) ここまででわかる通り、非常に充実した留学生活を送れていると思います。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

アルバータに来るからには、Lister Centre に住んでドッジボールをやらないと損だと思います！ドッジボールを通して、フロアメートとの絆が深まり、一歩進んだ信頼関係が築けると思います。また、ドッジボールそのものも、日本とルールが大きく異なり、よりExciting なものとなっています。まずはリスターに住んで、ドッジボールをしましょう！

あとは、冬はとっても寒いので、(この前は体感気温-50 度でした…)しっかりとそれに備えましょう。といっても日本で特別何かをしておく必要はありませんが。

最後に真面目なアドバイス。しっかりと覚悟をしましょう。帰国生で英語がペラペラであったりしない限り、最初の 1 か月程度は非常に苦しくなることでしょう。しっかり勉強と私生活を両立しようとするとなおさらです。でも、それは、一種の通過儀礼であって、自分があきらめて引きこもりになったりさえしなければ、必ず道は開けます。苦しくなることをしっかりと覚悟して、何があっても進み続けるように自分に言い聞かせましょう。

楽しいことばかりでは決してありません。言語、勉強、文化、気候の違いなどから発生する問題で、むしろ大変な時間の方が多いです。でもそれは日本では味わうことが難しい大変さであり、当然、それを乗り越えて得られるものは、日本で得ることが難しい、価値あるものになることでしょう。来年、エドモントンにやってくる明治の同志が、自分が体験しているようなかけがえのない体験をしてくれることを心からお祈りしています。